

感染防止、健康づくり立案

鵠川高生、模擬議会で提出

【むかわ】鵠川高(三村素道校長、135人)の生徒が、新型コロナウイルス禍での感染対策や町民の健康づくりにつながる事業を企画立案し、2日、町職員が議員を務める模擬議会で説明した。

町役場での職業体験の一



環。生徒たちは、①町民の運動不足の解消を目的に胆振東部地震で生じた空き地にスポーツ施設を建設する②換気をよくしてコロナ感染を防ぐため、鵠川高の教室に送風機を設置する―など7事業を提案。建設費などを計上した「本年度一般会計補正予算案」として、模擬議会に提出した。

議会では、議員役の町職員が「スポーツ施設の利用料はいくらか」などと質問。生徒は「緊張した面持ちで企画立案した事業を説明する鵠川高の生徒

軽に利用できる施設を目指
すため、町民は無料、町民
外は100円とします」と

答弁した。参加した1年の
竹山朋成さん(15)は「緊張
で心臓がばくばくしたけ

ど、思った以上にうまく説
明できた」と話した。

(仲沢大夢)